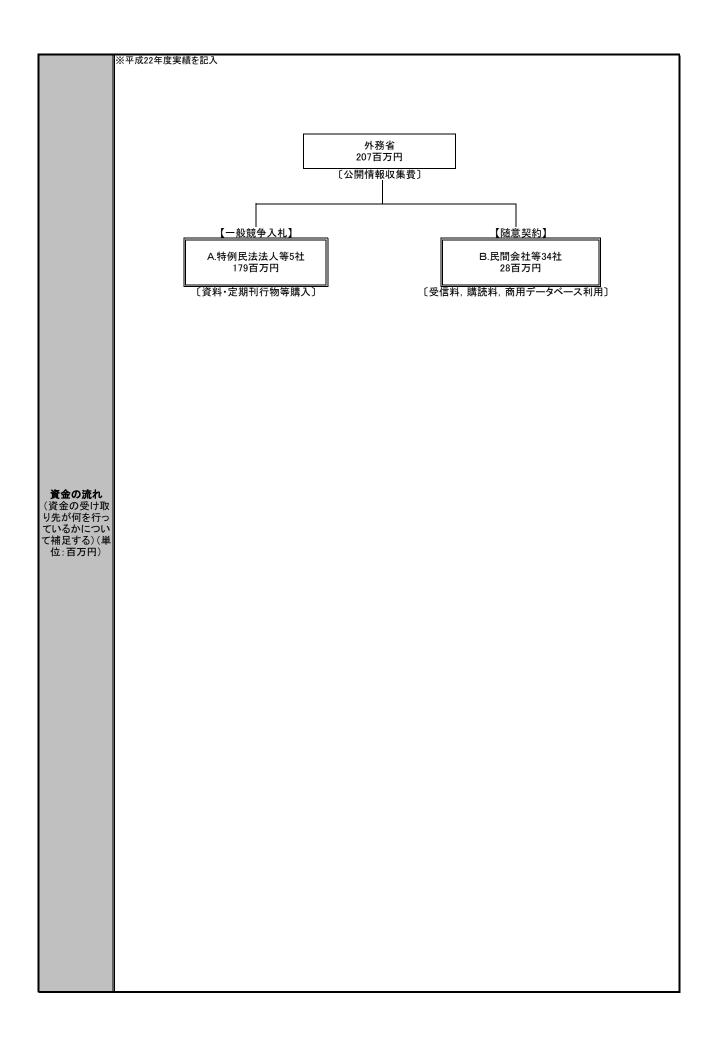
						平成23	年	<u>行政事</u>	<u>業し</u>	<u>ノビ</u>	ューシート	· (外	<u> 務省)</u>		
	業名			公開情報	<b>以集</b>	費		担当部	局庁		国際情	報統括官組織			成責任者
	関始・ ア定)年度			平成16年	F度開:	始		担当	果室		第一国際情報官	宮・第四国際情	報官室		国際情報官 田 裕憲
会記	†区分			一般	会計			施策	名			一6 的確な情 報及び分析のi			
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)		外表	<b>务省設置法</b>	第四组	条第七項		関係する通知		•		-	_		
(目指潔に。	<b>の目的</b> す姿を簡 3行程度 l内)	公開	<b>捐情報</b> 収	集											
<b>事業概要</b> (5行程度以内。 別添可)		多村	様な国際	情勢に迅速	₹•的征	寉に対応するた	:め,	公開情報	ወቀ <sup>ሪ</sup>	の基	礎的な情報をん	入手する。			
実施方法		■直	接実施	•	業務	委託等		口補助			貸付	□その他			
						20年度		21年度			22年度	23年	度	2	4年度要求
		当初予算		切予算		218		220			214	20	7 19		193
	算額· 行額	算 の	補正	E予算		_		_			_	_			
		状	繰	越し等		_		_			_	_			
(単位	:百万円)	況		計		218		220			214	20	7		193
			執行	額		218		211			207				
			執行率	(%)		100.0%		96.0%			96.5%				
				成果	指標				単位	立	20年度	21年度	22年	度	目標値 (年度)
成县	目標及び <b>限実績</b> いカム)	的確 (参考	指標)		fの政策決定ラインへの提供 数(H20を100とした場合) 数(H20を100とした場合)			成果実績	H20を 00と る		①100 ②100	①97 ②46	①1: ②1:		-
								達成度	%		_	-	_	-	
<b>汗酬</b> ₺	旨標及び			活動	指標				単位	立	20年度	21年度	22年	度	23年度活動見込
活動	助実績	購入Ⅰ	.7-刊行4	勿• データベ-	-2.3	≘ニタリングサー	ビス	活動実績			199	210	22	4	_
	トプット)	の数	,,,,,,,,					(当初見込 み)					( 21	1 )	( 174 )
	:当たり  スト			206,732	千円/	年		算出根拠	年間	執行	<b>亍額</b>		I		
	- 書	目		23年度当初	予算	24年度要求					Ė	な増減理由			
平成	物品	購入	費	142	,116	142,116	6								
2 3	騏	読料		29	,120	26,621									
単・ 位 2	データベ	ースを	利用料	15	,517	9,633	3								
: 4 千年	調査	委託	費	14	,368	14,175	5								
円度	放送	受信	料	5	,670	-									
円) 度予算内訳															
		計		206	,791	192,545	5								

		事業所管部局による点検								
	評価	項目	特記事項							
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。								
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。								
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。								
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。								
၈	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。								
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。								
費	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。								
· 目	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。								
活動	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。								
実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。								
積、1	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。								
成果	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか								
実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。								
点 検 支出先及び使途については、契約書・請求書等にて確認し、把握に努めている。従来より競争性のある契約に努めているところ、安全付 結 果										
		予算監視・効率化チームの所見								
	一部改善	事業見直し, 単価見直しによる減								
	<u> </u>	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)							
縮減(事業見直し, 単価見直しによる減)										
		補配(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となってし	る場合はその結果も記載)							



		A.(財)ラヂオプレス			E.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	物品購入費	モニタリングニュース及び関係資料	142			(日7311)
	=1		1.10	=1		
	計	B.(株)ジェイエスキューブ	142	計	<u> </u>	0
	# D		金額		F.	金額
	費目	使 途	(百万円)	費目	使 途	(百万円)
	購読料	オックスフォード・アナリティカデイリー ブリーフ	6			
費目・使途						
(「資金の流れ」 においてブロッ						
クごとに最大の						
金額が支出されている者につい						
て記載する。費 目と使途の双方						
で実情が分かる						
ように記載)	計		6	計		0
		C.			G.	ı
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
			(1173137			(117311)
	計		0			0
	āl	D.	0	āl	Ш	0
	# D		金 額	# D	H.	金額
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0

### 支出先上位10者リスト A.特例民法法人等5社

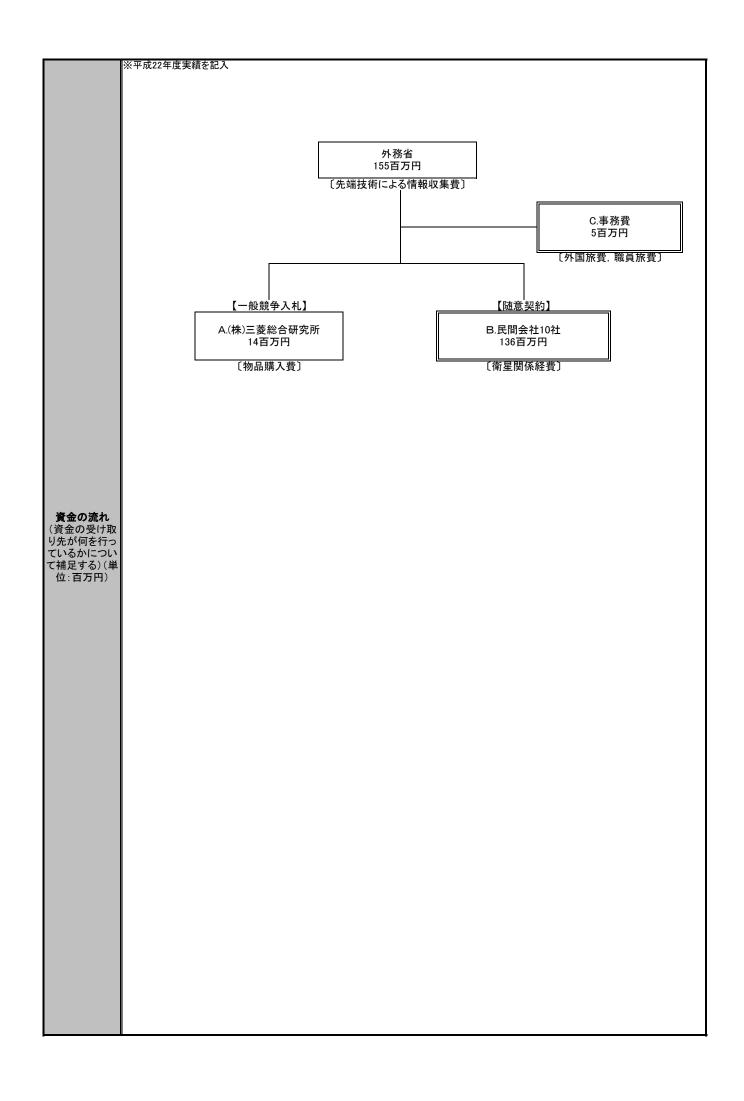
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)ラヂオプレス	モニタリングニュース及び関係資料	142	1	100.0%
2	(有)エリコ通信社	アルジャジーラ放送モニタリングレポート作成	17	1	97.6%
3	(財)中東調査会	テロ組織及びテロリスト情報収集・分析調査	15	1	97.0%
4	海外新聞普及(株)	外国新聞・雑誌の購入	3	3	86.1%
5	(株)ジャパンエコー	月刊公開情報の作成	2	3	92.9%
6	(株)文研堂書店	定期刊行物の購読	0.4	2	91.3%
7					
8					
9					
10					

B.民間会社等34社

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ジェイエスキュ <b>ー</b> ブ	オックスフォード・アナリティカデイリーブリーフの購読	6	随意契約 (競争性なし)	-
2	(株)日本ケーブルテレビ ジョン	CNN放送の受信	4	随意契約 (競争性なし)	_
3	レイデンリサーチ(株)	EIUカントリーレポートのインターネット版購読	4	随意契約 (競争性なし)	_
4	NPO法人 岡崎研究所	コンテンツアナリシスの購読	3	随意契約 (競争性なし)	_
5	レクシス・ネクシスジャパ ン(株)	レクシス・ネクシス情報検索サービス	2	随意契約 (競争性なし)	_
6	(株)BBCワールドジャパン	BBC放送の受信	2	随意契約 (競争性なし)	_
7	丸の内新聞事業協同組合	邦字新聞の購読	2	随意契約 (競争性なし)	_
8	(株)時事通信社	AFPニュースの情報検索サービス	1	随意契約 (競争性なし)	_
9	(株)紀伊国屋書店	執務参考図書の購入	0.7	随意契約 (少額)	_
10	(株)内山書店	中国雑誌の購読	0.6	随意契約 (少額)	_

													事業番	<u> </u>		680
						平成23	3年行	<b>了政事</b>	業レ	ビュー	ーシート	,	(外表	<b>务省)</b>		
事	業名		先如	端技術によ	る情報	収集費		担当部	局庁		国際情	報統	舌官組織			成責任者
	模開始・ 予定)年度			平成16年	F度開始	á		担当記	課室		第一	国際情	報官室		第一	国際情報官
会計	+区分			一般	会計			施策	E名		びにす	I 一6 青報及	的確な情び分析の	報収集及	び分析	ŕ,
(具	<b>心法令</b> 体的な も記載)		外系	<b>务省設置法</b>	第四条	第七項		関係する 通知	計画、 1等					_		
(目指する) 潔に。	<b>の目的</b> す姿を簡 3行程度 l内)	先站	端技術に	よる情報収	集											
<b>事業概要</b> (5行程度以内。 別添可)		先站	端技術を	活用して情	報の収	マ集・分析を行	ť									
実施	 拖方法	■直接実施			業務	委託等		]補助		□貸付		□そ	 D他			
						20年度		21年度			22年度		23年		2	
執		-	当初予算			201		169			174		21		193	
	<b>算額・ (行額</b> ෭:百万円)	予算	補工	E予算		_		_			_					
		の状	繰走	越し等		_		_		_			_	-		
		況				201		169	)		174		210			193
			執行額			171		154			155					
			執行率	(%)		85.2%		91.5%	% 89.0		89.0%					
				成果					単位	<u>.</u> 2	20年度	2	1年度	22年	度	目標値(年度)
成果目成果	目標及び 限実績		目標)	パハギのたな	fr >4 c4 -			成果実績	H20を 00とす	L.	<u>1</u> 100		<u>1</u> 97	①13		
	トカム)	(参考	指標)				į į	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	5 る	,	2100		246	210	00	
		(A)	Lp			)とした場合) 0とした場合)		達成度	%		_		_	_		
				活動	指標				単位	2	20年度	2	1年度	22年	度	23年度活動見過
活動	指標及び 助実績							活動実績			743		479	117	6	_
(アウ	トプット)	関連	データ購 <i>入</i>	人枚数				(当初見込み)	枚数	t				( 60	5)	( 223)
	:当たり  スト			154,76	65千円	/年	:	算出根拠	年間報	执行額		l				
	1	<b>世</b> 目		23年度当初	予算	24年度要求	:					主な増	減理由			
平成	機器	<b></b>	—— 等	97	,822	97,40	00									
~ 3	物品	講入	費	53	,730	41,29	06									
単・	货	保守費		45	,120	41,45	52									
位 2 : 4 千年 円度	3	その他		13	,176	13,08	88									
ロタ ) 算 内																
訳		計		209	,848	193,23	36									

		事業所管部局による点検	
	評価	項目	特記事項
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
第の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
മ	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
使途、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	
費	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
目 •	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
動実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
績	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
成果実績	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	務の性格	を踏まえつつ、可能なものについては、競争性のある方式の実施に努めて	いる。
		予算監視・効率化チームの所見	
- 1 1	一 部 改 善	事業見直し,単価見直しによる減	
	<u> </u>	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概)	草要求における反映状況等)
縮減(	事業見直	ン,単価見直しによる減)	
縮減(	事業見直	し、単価見直しによる減) 補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となってい	る場合はその結果も記載)



		A.(株)三菱総合研究所			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	物品購入費	地図データ	14			
	計		14	計		0
		B.民間会社A			F.	A ##
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	保守費	機器類の保守	39			
費目・使途						
/「答全の法も						
クごとに最大の 金額が支出され						
ている者について記載する。典						
においてプロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情がかるといるます。またに記載する。						
ように記載)						
	計	- 11 3/4 #1 #1 57	39	計		0
	<b></b>	C.非常勤職員	金 額	# 5	G.	金額
	費目	使途	(百万円)	費目	使 途	(百万円)
	諸謝金	調査・分析	4			
	計		4	計		0
	н	D.	-	н	Н.	
	費目	使 途	金額	費目		金額(百万円)
			(百万円)	7. 1	2	(自力円)
	計		0	計		0
				'		

#### 支出先上位10者リスト A.

Α.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	地図データの購入	14	2	100.0%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.民間会社(10社)

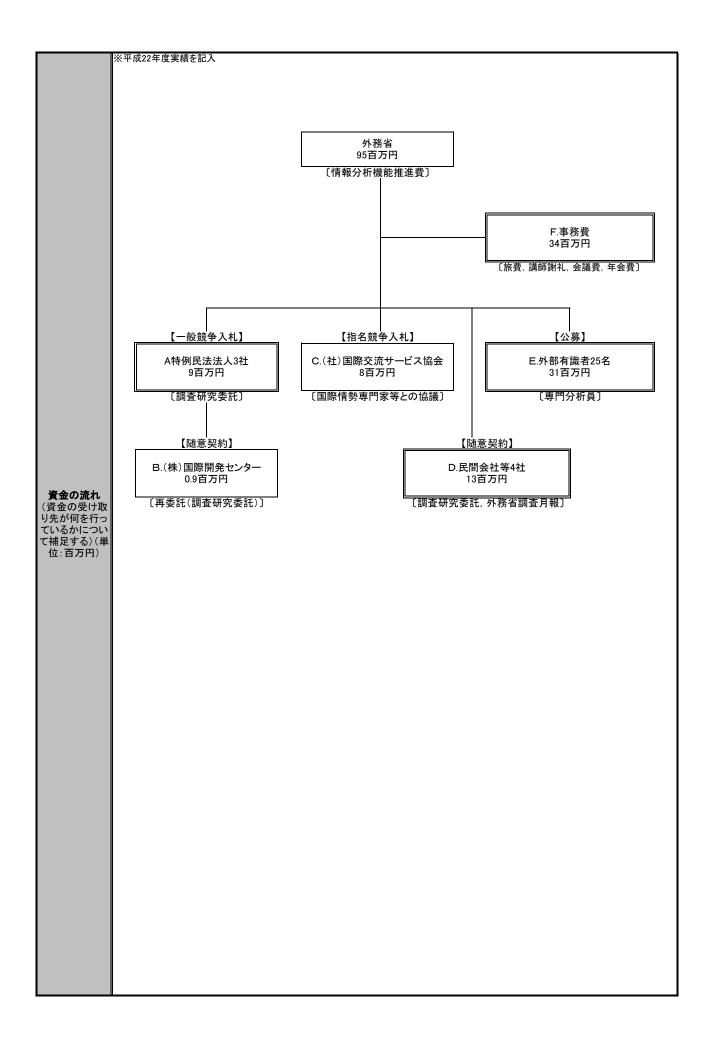
B.E	間会社(10社)				
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	民間会社A	機器類の保守契約	39	随意契約(秘) (国債取得に 伴うもので, 18 年度のシステム開発時に指	_
2	民間会社B	機器類リース	39	名競争入札を	_
3	民間会社C	物品購入	28	随意契約(秘)	_
4	(財)リモートセンシング技 術センター	物品購入	17	随意契約(秘)	_
5	民間会社D	施設の保守契約	10	随意契約(秘)	_
6	民間会社E	通信料	2	随意契約(秘)	_
7	エスピー(株)	消耗品購入	0.3	随意契約 (少額)	_
8	民間会社F	通信料	0.2	随意契約 (少額)	_
9	(株)NTTぷらら	通信料	0.1	随意契約 (少額)	_
10	(社)日本リートセンシン グ学会	学会誌の購読	0.01	随意契約 (少額)	_

#### C.事務費

	支 出 先	業 務 概 要	支出額(百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員	調査·分析	4	1	_
2	出張者A	外国出張	0.6	_	_
3	出張者B	外国出張, 国内出張	0.3	_	_
4	出張者C	外国出張	0.3	_	_
5	出張者D	外国出張	0.3	_	_
6	出張者E	国内出張	0.03	_	_
7	出張者F	国内出張	0.03	_	_
8	出張者G	国内出張	0.03		
9					
10					

						平成23	<u>年</u>	<u>行政事</u>	<u>業レ</u>	<u>・ビューシート</u>	- (外	<u>務省)</u>		
事	業名			情報分析機	幾能推	進費		担当部	局庁	国際情	報統括官組織			戊責任者
	模開始・ 予定)年度			平成164	丰度開	始		担当記	課室		官室·第二国際情報7 官室·第四国際情報7			国際情報官 田 裕憲
会記	<b>計区分</b>			一般	会計			施策	名		[ <b>一</b> 6 的確な情 情報及び分析の]			
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)		外表	<b>務省設置法</b>	第四组	条第七項		関係する通知			-	_		
(目指潔に。	の目的 す姿を簡 3行程度 l内)	情幸	<b>设分析機</b>	能推進										
事業概要 (5行程度以内。 別添可)		見を利	漬極的に	活用してい	くなと	いくためには, ごして, 多角的 を図っていく。	様々な観	な要因・勧点から分析	見点か fを推□	ら考慮することが, し進め, また, 外国	必要であり, 省内 11政府機関や専門	9のみなら <sup>っ</sup> 門家とのネ	ず省外 ットワ-	の専門家の知 ーク拡大を通じ
実別	<b>包方法</b>	■直:	接実施	•	■業務	委託等		口補助		口貸付	□その他			
						20年度		21年度		22年度	23年	度	24	4年度要求
		予	当初予算			121		125		111	10	17		103
予: 執	War #45 .	算補正予算の			_		_		_		-			
	行額	状	繰	越し等		_		_		_	_	•		
(単位	:百万円)	況		計		121		125		111	10	7		103
			執行	額		109		101		95				
		執行率(%)				90.1%		80.7%		85.7%				
				成果	指標				単位	20年度	21年度	22年	度	目標値(年度)
	目標及び    実績	(成果 的確な	目標)	び分析の政領	な策決定ラインへの提供 20を100とした場合)			成果実績	H20を 00と		①97 ②46	①13 ②10	0	_
(アウ	<b>トカム</b> )	(参考	指標)					達成度	る %	2100	<b>2</b> /40	210	U	
		②幹部	部ブリーフ		20を100とした場合)			<b>建</b> 成反						
活動均	旨標及び			<b>沽</b> 動	)指標 				単位		21年度	22年		23年度活動見込
活動	b 実績 トプット)		門分析員 長者のべ					活動実績		①19②42③21 ④31	119246325 422	①18②57 ④13		_
()-)	トノット)	③委記	光調査報 豊のベ人	告書数				(当初見込 み)	③ 本数			(1)18(2)3 (4)20		(1)19(2)32(3) 15(4)17)
	z当たり Iスト			94,688=	千円/=	年		算出根拠	年間	执行額				
	費	目		23年度当初	]予算	24年度要求				Ē	Eな増減理由			
平成	į	射金		37	,448	38,97	5							
2 3		旅費		28	,101	28,80	0							
単・位2	会議	等開催	謹費	25	,092	18,94	6							
: 4 壬年	調査	委託	費	15	,463	15,29	8							
1:千円)	そ	の他			566	54	7							
算内														
訳														
		計		106	06,670 102,566									

事業所管部局による点検								
評価	項目	特記事項						
0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。							
0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。							
_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。							
0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。							
0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。							
_	受益者との負担関係は妥当であるか。							
0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。							
0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。							
0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。							
0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。							
0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。							
0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか							
0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。							
	予算監視・効率化チームの所見							
一 部 改 善	事業見直しによる減							
I	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)						
事業見直	しによる減) 補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となってし	へる場合はその結果も記載)						
	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	評価 項 目 ○ 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 ○ 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 ○ 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。 一 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 ○ 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 ○ 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 ○ 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 ○ 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 ○ 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 ○ 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 ○ 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 ○ 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ○ 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 ○ 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 ○ 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 ○ 本語を持続し、節約に努める。 ○ 本語を経済的・効率的な航空券の利力式を検討し、節約に努める。						



		A.(財)ラヂオプレス		E.外部有識者			
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
	人件費	主任研究員, 研究員	4	謝金	専門分析員A	2	
	その他	管理費, 消費税	0.6				
	計		5	計		2	
		В.			F. 事務費		
	費目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)	
			(日万円)	外国旅費	出張者A	5	
費目・使途							
(「資金の流れ」においてブロッ							
クごとに最大の							
金額が支出され ている者につい							
て記載する。費 目と使途の双方							
で実情が分かる ように記載)	計		0	計		5	
5 V . H= 17.7		 C.(社)国際交流サービス協会			G.		
	費目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)	
	交通費	国際航空券, 国内切符代	3				
	借料	自動車借り上げ	2				
	宿泊料等	宿泊・食事代	2				
	人件費	通訳・エスコート料	1				
	雑費	入場料,同行者宿泊·食事代	0.3				
	その他	運営管理費	0.3				
	計		8	計		0	
		D.(株)三菱総合研究所			H.	•	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
	人件費	主席研究員, 主任研究員, 研究員, 研究助手	4				
	接遇費	国際航空運賃, 宿泊費, 車両借上 費, 謝礼金, 食事代, 海外傷害旅行 保険	2				
	開催・運営費	会場借料、レセプション経費、議事録 作成費、会議費、資料印刷費、業務 補助員賃金、地図購入費	2				
	その他	一般管理費, 消費税	1				
	計		9	計		0	
	п		9	п		J	

#### 支出先上位10者リスト

A.特	例民法法人3社				
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)ラヂオプレス	調査研究委託	5	2	93.8%
2	(財)未来工学研究所	調査研究委託	2	1	95.5%
3	(財)国際開発センター	調査研究委託	2	2	83.7%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
(·	性/国際問みょいた				

B.(株)国際開発センター 支 出 額(百万円) 業務概要 入札者数 落札率 支 出 先 1 (株)国際開発センター 随意契約 調査研究委託(A. 3 (財)国際開発センターの再委託) 5 8 9 10

C.(	社)国際交流サービス協会				
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)国際交流サービス協会	国際情勢専門家等との協議	8	3	91.9%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.民間会社等4社

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
		調査研究委託	9	指名企画競争 (2者/3者)	_
2	(財)日本エネルギー経 済研究所	調査研究委託	3	企画競争 (3者)	_
3	(社)東京コロニー	外務省調査月報(印刷製本)	0.3	随意契約 (少額)	_
4	(株)ラシスコ	外務省調査月報(配送)	0.2	随意契約 (少額)	_
5					
6					
7					
8					
9					
10					
Εħ	部有識者25名		•	•	

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	専門分析員A	調査·分析	2	公募	_
2	専門分析員B	調査·分析	2	公募	-
3	専門分析員C	調査·分析	2	公募	_
4	専門分析員D	調査·分析	2	公募	_
5	専門分析員E	調査·分析	2	公募	_
6	専門分析員F	調査·分析	2	公募	_
7	専門分析員G	調査·分析	2	公募	_
8	専門分析員H	調査·分析	2	公募	_
9	専門分析員I	調査·分析	2	公募	_
10	専門分析員J	調査·分析	2	公募	_

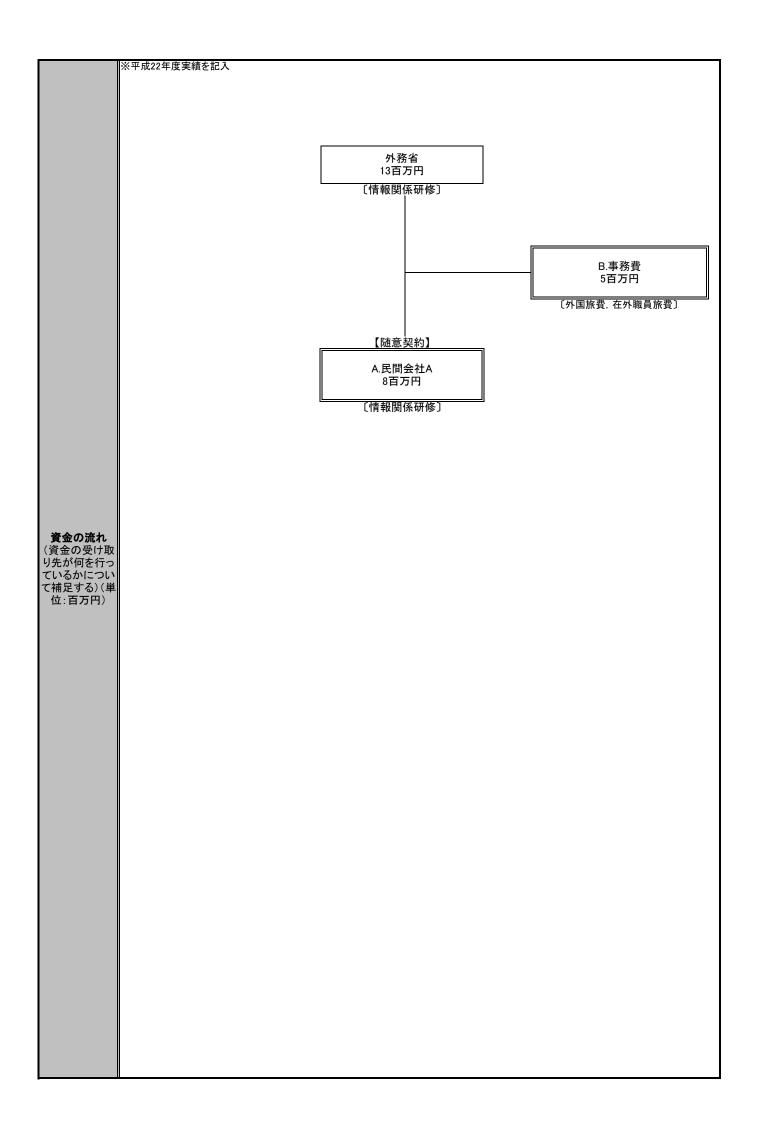
\_\_\_\_\_\_ F.事務費

	<b>加貝</b>				
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	外国出張	5	_	_
2	出張者B	外国出張	3	-	_
3	出張者C	外国出張	3	_	_
4	出張者D	外国出張	2	_	_
5	出張者E	外国出張	2	I	_
6	出張者F	外国出張	1	1	_
7	出張者G	外国出張	1	_	_
8	出張者H	外国出張	1	_	_
9	出張者I	外国出張	1	1	_
10	出張者J	外国出張	1	_	_

						平成23	年行	政事	業レ	ビューシー	<b>卜</b> (夕	務省)					
事	業名			情報関	係研値	多		担当部	局庁		青報統括官組織	t			任者		
	模開始 · 予定)年度			平成16年	丰度開始	始		担当記	課室	第三	国際情報官室 国際情報官室		柴	田 1	情報官 浴憲		
会記	计区分			一般	会計			施策	名	並びに	I -6 的確な 情報及び分析(	情報収集及 D政策決定	び分析 ライン・	f, への!	是供		
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)		外矛	<b>%省設置法</b>	第四组	条第七項	1	関係する 通知				_					
(目指) 潔に。	の <b>目的</b> す姿を簡 3行程度 以内)	情幸	<b></b> <b>段関係</b>	Ŧ修													
(5行程	<b>業概要</b> 程度以内。 添可)	以内。															
実施	<b>拖方法</b>	■直:	接実施		二業務	委託等		]補助		口貸付	□その他						
						20年度		21年度		22年度	23	年度	2	4年月	度要求		
	算額∙			予	当	初予算		25		24		21		10		1	2
<b>3</b> 2.4		算の	補〕	E予算		_		_		_		_					
執	行額	状	繰	越し等		_		_		_		_					
(単位	过:百万円)	況		計		25		24		21		10		1	2		
			執行	額		22	10			13							
			執行率	(%)		86.9%		66.0%		61.9%							
				成果	指標				単位	20年度	21年度	22年	度	(	目標値 年度)		
成	目標及び 果実績	(成果目標) 関係職員の対外情報分析能力		能力の強化		Fi.	<b></b>	H20を 00とで		①97 ②46	①1 ②1			_			
(アウ	<b>ハカム</b> )	(参考	指標)			0とした場合)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	る	2/100	<u>2</u> 40	21	00				
				7の回数(H2	0を10	00とした場合)		達成度	%	_	_	-	-				
活動技	旨標及び			活動	指標				単位	20年度	21年度	22年	· 度	23年	度活動見込		
活動	り実績 トプット)		TΠ l/b	*******	الما	3F - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	;	活動実績	١.	15	18	10	)		_		
	1000		1月19	参加のため	)())出	·	(	当初見込 み)	人			( 12	2 )	(	34 )		
	z当たり Iスト			12,7337	千円/4	年	貨	章出根拠	年間報	執行額				1			
	1	10000000000000000000000000000000000000		23年度当初	]予算	24年度要求					主な増減理由						
平成 2 3 単位: 4		旅費		10	,498	11,798	3										
千年 円度																	
) 予																	
内訳																	
13/1		計		10	,498	11,798	3										

		事業所管部局による点検					
	評価	項目	特記事項				
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。					
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。					
算の	0	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	先方の事情による計画変更があった。				
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。					
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。					
使流途、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。					
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
目	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
活動	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。					
実績	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。					
•	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
成果	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているが					
実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
点検結果	行うため	び使途については、契約書・請求書等にて確認し、把握に努めている。 高には、新たな分析要員の育成に係る研修が必要なところ、情報分析の能 ことが必要である。引き続き経費節約のため、研修の実施方法・場所・対	カ・確度の向上のため、国内外の研究機関による研修に				
		予算監視・効率化チームの所見					
	現状どおり	_					
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)				
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となって)	いる場合はその結果も記載)				

平成23年度より「職員のための研修及び情報収集・分析会議」として、「情報関係研修」及び「人的情報収集強化関連経費」及び「情報収集・分析担当官会議」の3案件を統合。



		 A.民間会社A			E.				
	# [		金額	# C	<b>弗口</b>				
	費目	使 途	金額(百万円)	賀 日	快 透	(百万円)			
	_	_	8						
	計		8	計		0			
		В.			F.				
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)			
費目・使途									
においてブロッ									
費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)									
ている者につい									
目と使途の双方									
で実情が分かるように記載)									
0171-11140/	計		0	計		0			
		C.		G.					
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)			
			(0/3/1)/			(87)17			
	計		0	計		0			
	計	D.	0	計	H.	0			
		D. 使 涂			H. 使 途				
	計費目	D. 使途	金 額 (百万円)	計費目	H. 使 途	金額(百万円)			
					T				
					T				
					T				
					T				
					T				
					T				
					T				
					T				
				費目	T				

### 支出先上位10者リスト

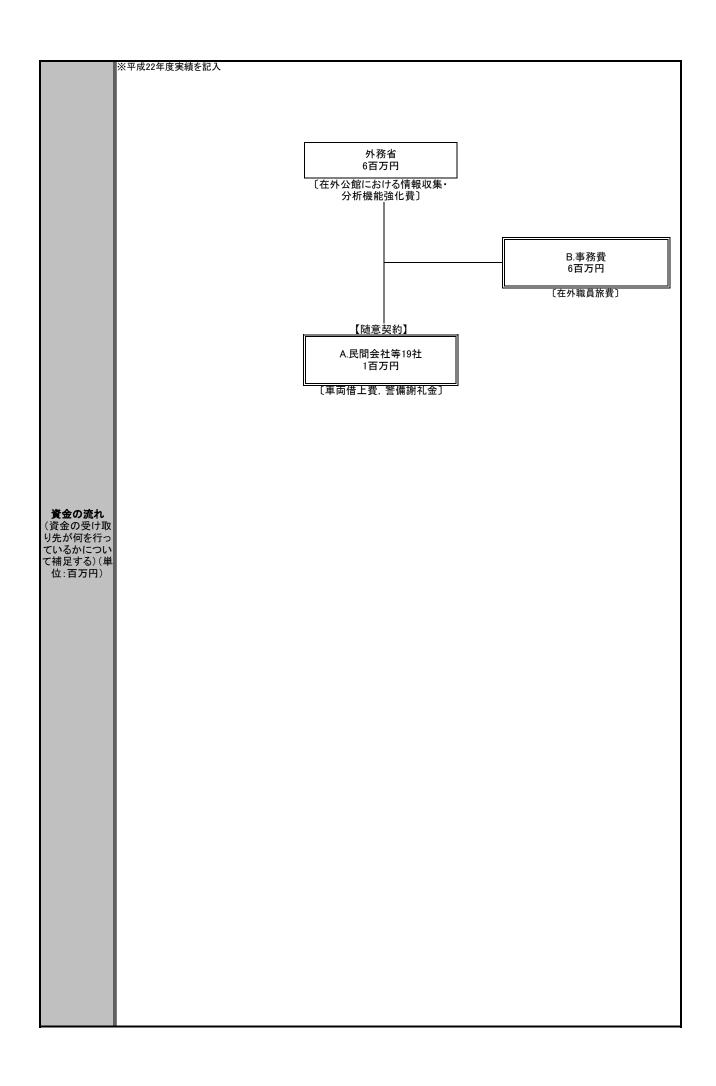
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	民間会社A	_	8	指名企画競争 (2者)	54.0%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.事務費.

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	出張旅費	0.6	-	_
2	出張者B	出張旅費	0.5	-	_
3	出張者C	出張旅費	0.5	ı	_
4	出張者D	出張旅費	0.5	_	_
5	出張者E	出張旅費	0.5	-	_
6	出張者F	出張旅費	0.5	-	_
7	出張者G	出張旅費	0.5	-	_
8	出張者H	出張旅費	0.4	_	_
9	出張者I	出張旅費	0.4	-	_
10	出張者J	出張旅費	0.3	_	_

						平成23	9年	行政事	業レ	バ	゚ューシート	,	(外	務省)					
事	業名	在外	公館に	おける情報	収集・	分析機能強化	上費	担当部	局庁		国際情	報統排	舌官組織			成責			
	模開始・ 予定)年度			平成164	年度開始	占		担当	課室		第一国際情報[ 第三国際情報]	官室・第	四国際情報	官室	柴	田 1	情報[ 俗憲	<u> </u>	
会記	H区分			一般	会計			施策	名				的確な情 び分析のi				是供		
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)		外系	<b>务省設置法</b>	第四条	<b>杀第七項</b>		関係する通知		•			-	_					
(目指潔に。	の目的 す姿を簡 3行程度 以内)	在外	在外公館における情報収集・分析機能強化																
(5行程	<b>業概要</b> 2度以内。 添可)	在外張す.		な情報源の	の開拓	石を1	含め, 情報収9	集を強	化するため	か, 任国の	)内外(	こ定算	期的に	出					
実施	<b>包方法</b>	■直:	接実施	[	□業務	<b>经託等</b>		口補助			貸付	<sup>2</sup>	その他						
						20年度		21年度			22年度		23年	度	24年度要求				
		予				6	6		12		8		6		6				
- 天-	<b>算額•</b> • <b>行額</b> ○:百万円)	算の		E予算		_		_					<del>                                     </del>						
執		状況		越し等		_		12			_								
(早四	:: H / I / I /	טעי		計		6	j				8		6			(	ô		
			執行	額		8		8			6								
			執行率	(%)		118.5%	67.7%			84.9%									
<b>武田</b> 6	コ 4冊 TL マぐ			成果	成果指標 官の情報収集・分析能力の強化 数(H20を100とした場合)				単位		20年度	2	1年度	22年	度	(	目標信		
成身	目標及び 果実績		·目標) 公館情報	担当官の情				成果実績			①100 ②100				)130 2)100		_		
(アウ	トカム)		指標) 折資料の	作成数(H2				達成度 %			_							_	
		2幹部	部ブリー:		20を100とした場合)			22/2/2	単位		20年度	2	1年度	22年	· rite	22#	- 由汗電	h 目 27	
活動技	旨標及び			/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	助指標 				甲几	Λ.	20年度		1年度	22年	· 及	23-4		<b>万</b> 元公	
活動	カ実績トプット)		在	外職員に。	よる出	張回数		活動実績(当初見込	回		53		55	50	)		_		
								み)						( 54	)	(	53	)	
	z当たり Iスト			6,403 <del>⊺</del>	-円/年	E		算出根拠	年間	執行	<b></b>								
	1	費目		23年度当初	]予算	24年度要求					É	な増	減理由						
平成	:	旅費		5	,539	5,23	7												
2 3	自重	車借	料		744	71	5												
単・ 位 2		謝金			113	14	3												
: 4 千年																			
円度 〜予																			
算内																			
記																			
		計		6	,396	6,09	5												

		事業所管部局による点検								
	評価	項目	特記事項							
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。								
状 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。								
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。								
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。								
$\overline{\sigma}$	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。								
使途	_	受益者との負担関係は妥当であるか。								
費	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。								
目	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。								
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。								
動実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。								
績、1	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。								
成果実	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているが								
実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。								
結		するものであり、在外公館の情報収集活動が一定の成果を得るためには 策を拡充していく必要がある。経費は主に出張関連経費であり、経費節糸 らめる。								
		予算監視・効率化チームの所見								
;	部改善	事業見直しによる減								
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)							
縮減(	縮減(事業見直しによる減)									
		補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となってし	いる場合はその結果も記載)							



		A.			E.	
	費目	使 途	金額	費目	使 途	金額(百万円)
		<b>24</b>	(百万円)			(白万円)
	=L		0.0	=L		0
	計		0.0	計		0
	# 0	B.	金 額	# 5	F.	金 額
	費目	使 途	(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
費目·使途						
(「資金の流れ」						
クごとに最大の						
でいる者につい						
て記載する。費 目と使途の双方						
たのとに見大切 クごとに最大れ でいる者につい で記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)						
5 · 5 · - MS-49V/	計		0.0	計		0
		C.			G.	
	費目	C. 使 途	金額(百万円)	費目	G. 使 途	金額(百万円)
	費目	T	金額(百万円)	費目		金額(百万円)
	費目	T	金額(百万円)	費目		金額(百万円)
	費目	T	金額(百万円)	費 目		金額(百万円)
	費目	T	金額(百万円)	費目		金額(百万円)
	費目	T	金額(百万円)	費目		金額(百万円)
	費 目	T	金額(百万円)	費目		金額(百万円)
	費目	T	金額(百万円)	費目		金額(百万円)
	費 目	T	金額(百万円)	費目		金額(百万円)
	費目	T	金額(百万円)			金額(百万円)
		T	(百万円)			
		使 途	金 額		使途	0
	計	使 途 D.	0	ā†	使 途 H.	0
	計	使 途 D.	金 額	ā†	使 途 H.	0
	計	使 途 D.	金 額	ā†	使 途 H.	0
	計	使 途 D.	金 額	ā†	使 途 H.	0
	計	使 途 D.	金 額	ā†	使 途 H.	0
	計	使 途 D.	金 額	ā†	使 途 H.	0
	計	使 途 D.	金 額	ā†	使 途 H.	0
	計	使 途 D.	金 額	ā†	使 途 H.	0
	計	使 途 D.	金 額	計費目	使 途 H.	0

## 支出先上位10者リスト A.民間会社等19社

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	民間会社A	車両借上	0.2	随意契約 (在外契約)	_
2	民間会社B	警備謝金	0.1	随意契約 (在外契約)	_
3	民間会社C	警備謝金	0.1	随意契約 (在外契約)	_
4	民間会社D	車両借上	0.1	随意契約 (在外契約)	_
5	民間会社E	車両借上	0.1	随意契約 (在外契約)	_
6	民間会社F	車両借上	0.04	随意契約 (在外契約)	_
7	民間会社G	車両借上	0.04	随意契約 (在外契約)	_
8	民間会社H	車両借上	0.03	随意契約 (在外契約)	_
9	民間会社I	車両借上	0.03	随意契約 (在外契約)	_
10	民間会社J	車両借上	0.03	随意契約 (在外契約)	_

B.事務費

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	出張旅費	0.4	_	_
2	出張者B	出張旅費	0.3	_	_
3	出張者C	出張旅費	0.3	_	_
4	出張者D	出張旅費	0.2	_	_
5	出張者E	出張旅費	0.2	_	_
6	出張者F	出張旅費	0.2	_	_
7	出張者G	出張旅費	0.2	_	_
8	出張者H	出張旅費	0.2	_	_
9	出張者I	出張旅費	0.2	_	_
10	出張者J	出張旅費	0.2	_	_

						平成23:	年行政	事	業レ	ビューシ	<u>—</u>	· (外	<b>赂省)</b>			
事	業名		人自	的情報収集	強化關	関連経費	担	当部周	局庁	<u>=</u>	際情	報統括官組織			<b>龙責</b> 任	
事業 終了(予	模開始・ 予定)年度			平成20年	度開始	冶	ž	担当謂	室	1		国際情報官室		柴	田裕	青報官 8憲
会記	十区分			一般	会計			施策	名	並		<ul><li>一6 的確な情 情報及び分析の</li></ul>				<b>}供</b>
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)		外矛	<b>務省設置法</b> 第	第四乡	条第七項		乗する 通知				,	_			
(目指) 潔に。	<b>の目的</b> す姿を簡 3行程度 l内)	人的	勺情報収	<b>/</b> 集強化												
<b>事業概要</b> (5行程度以内。 別添可)						ウンター・インテ					うの講	習会の実施。				
実施	<b>拖方法</b>	■直:	接実施		業務	委託等 ——————	口補用	助		口貸付		□その他				
		_				20年度	21年	<b>丰度</b>		22年)	<b></b>	23年	度	2	4年度	要求
		予		当初予算		12	1.	12		5		_	-		_	
<b>- - - - - - - - - -</b>	算額·	算の		正予算		_	_	_		_		_				
執	<b>行額</b> <b>行額</b> :百万円)	状   繰越		越し等	_		_	_				_	-			
(単位	:白万円)	沈		計	12		1.	2		5		_			_	
		執行額		額		6	0.4	4		2						
		執行率(%)				48.6%	3.2	2%		39.19	%					
				成果	指標			$\overline{}$	単位	20年月	芰	21年度	22年	度	(	目標値 年度)
成果目 成果	目標及び 果実績		:目標)	ウンターイン	ーインテリジェンス能力の強化			実績	H20を 00とす	1 1100 2100		197	①1:			_
	トカム)	(参考	指標)						る	(2)100	J	246	(2)1	2)100		
					0を100とした場合) 20を100とした場合)			戊度	%	_		_	_	-		
	NIE W ad			活動	動指標				単位	20年月	度	21年度	22年	度	23年)	度活動見込
活動	指標及び 助実績						活動	実績		6		1	10	)		_
(アウ	トプット)		本件事	業参加のた	めの	出張者人数	(当初み		人				( 20	)	(	_ )
													( 20	, ,	`	
	と当たり Iスト			2,044 <del>千</del>	円/年	Ę	算出	根拠:	年間幸	执行額						
		L														
平	費	1 目		23年度当初	予算	24年度要求					Ė	Eな増減理由				
成 2		_		_		_	_									
。 道·																
位 2							-									
: 4																
円度							-									
算 内							-									
訳		計					-									
		āΤ				_										

		事業所管部局による点検									
	評価	項目	特記事項								
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。									
状・	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。									
算の	0	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	複数の案件を同時に行い、経費を節約しつつ効果的に 実施した。								
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。									
၈	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。									
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。									
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。									
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。									
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。									
動実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。									
積、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。									
成果	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか									
実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。									
集	E (0)7.	、経費節約の観点から経済的・効率的な航空券を利用し、今後も節約に努									
	1	予算監視・効率化チームの所見									
		_									
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)								
		_									
	補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)										
		り「職員のための研修及び情報収集・分析会議」として、「情報関係研修」 3案件を統合。	及び「人的情報収集強化関連経費」及び「情報収集・分析								

	※平成22年度実績を記入
	外務省 2百万円
	〔人的情報収集強化関連経費〕
	A.事務費 2百万円
	2百万円
***	
<b>資金の流れ</b> (資金の受け取	
Ⅰり先が何を行っ	
ているかについて補足する)(単	
位:百万円)	

		<b>A</b> .			E.	
	費 目		金額(百万円)	費 目	使 途	金 額
	具 口	医 医 医	(百万円)	見口	区 返	(百万円)
	計		0	計		0
		B.			F.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
			(17311)			(117313)
費目・使途						
(「資金の流れ」   においてブロッ						
クごとに最大の						
ている者につい						
て記載する。費用と使途の双方						
費目・使途 (「資本の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。 で記載途の双方で実情が分かるように記載)						
よっに記載)	計		0	計		0
		C.			G.	
	費 目		金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	具 口	<b>皮</b>	(百万円)	具 口		(百万円)
	計		0	計		0
		D.	A #=		H.	A +-
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

# 支出先上位10者リスト A事務費

	支 出 先	業務概要	支出額(百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	出張旅費	0.7	_	_
2	出張者B	出張旅費	0.2	-	_
3	出張者C	出張旅費	0.2	-	_
4	出張者D	出張旅費	0.2	-	_
5	出張者E	出張旅費	0.1	_	_
6	出張者F	出張旅費	0.1	l	_
7	出張者G	出張旅費	0.1	_	_
8	出張者H	出張旅費	0.1	-	_
9	出張者I	出張旅費	0.1	_	_
10	出張者J	出張旅費	0.1	_	_

						平成23	年	行政事	業レ	ビューシー	卜(外	務省)			
事	業名		情	報収集∙分析	斤担当	自官会議		担当部	局庁	国際情	青報統括官組織			成責任	
	模開始・ 予定)年度			平成16年	度開始	始		担当	課室		国際情報官室		柴	田裕	青報官 憲
会記	计区分			一般:	会計			施策	名		I <b>一</b> 6 的確な情 青報及び分析の				<b>!</b> 供
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)		外矛	<b>%省設置法</b> 第	第四约	条第七項		関係する 通知		•		_			
(目指) 潔に。	の <b>目的</b> す姿を簡 3行程度 以内)	情報	最収集•☆	分析担当官	会議										
(5行程	<b>業概要</b> 建度以内。 添可)	本省	<b>針と在外</b>	公館の担当	i者の	間の情報共有	頁•意∫	見交換の乳	実施						
実施	<b>包方法</b>	■直	接実施		]業務	委託等		口補助		口貸付	口その他				
						20年度		21年度		22年度	23年	度	2	4年度	要求
		予				7		8		5		-			
予:	庫額·	算の				_				_	_	-			
執	<b>行額</b> ::百万円)	状況		越し等		_					_	-			
(牛四	ロハル	///		計 - ##		7		8 5		_	· 		_		
			執行			5		5		1					
		執行率(%)				64.1%		59.1%		22.4%					
- 計画 F	コー・カーフ・・・・			成果:	果指標				単位		21年度	22年	度	(	目標値 年度)
成身	目標及び 果実績		旦当官の	情報収集・分	分析能力の強化			成果実績			①97 ②46	①13 ②10	30 00		_
(アウ	トカム)		<b>斤資料の</b>		0を100とした場合)			達成度	る %		_	_			—
		(2)幹音	ドフリース	7の回数(H2) 活動:	20を100とした場合)				単位	20年度	21年度	22年	度	23年月	变活動見込
	旨標及び			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							= 1 1 2	,			
活動 (アウ	<b>助実績</b> トプット)		会議	出席のため	ത⊞	<b>張者人</b> 数		活動実績	人	17	21	8			_
			2 112	(HI)(10)	М	IK I // X		(当初見込み)				( 19	)	(	- )
	単位当たり コスト		1,125千卩			Ę		算出根拠	年間:	執行額					
	1	1 目		23年度当初	予算	24年度要求				=	主な増減理由				
平 成 2 (3		_		_		_									
単・ 位 2			-												
: 4 千年															
円度															
算内															
訳		<del>≣</del> ⊥					_								
		計		ı –		_									

	事業所管部局による点検										
	評価	項目	特記事項								
且	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。									
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。									
第の	0	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	複数の案件を同時に行い、経費を節約しつつ効果的に実施した。								
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。									
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。									
使れ、	-	受益者との負担関係は妥当であるか。									
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。									
目・	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。									
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。									
動実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。									
績、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。									
成果	0	  類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているが									
果実績	0	  整備された施設や成果物は十分に活用されているか。									
点検結果	337 1330	航空券を利用し、今後も節約に努める。									
		予算監視・効率化チームの所見									
		ー 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	筆要求における反映状況等)								
		_									
	補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)										
	平成23年度より「職員のための研修及び情報収集・分析会議」として,「情報関係研修」及び「人的情報収集強化関連経費」及び「情報収集・分 析担当官会議」の3案件を統合。										

	※平成22年度実績を記入
	外務省 1百万円
	〔情報収集・分析担当官会議〕
	A.事務費
	A.事務費 1百万円
	〔在外職員旅費〕
資金の流れ	
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補き五下四	
ているかについて補足する)(単	<u>.</u>
位:百万円)	

	A.事務費			E.			
	費 目	使 途	金額		使 途	金額	
	貸 日	快 迹	金額(百万円)	費目	使 述	金額(百万円)	
	=1		0	=1		0	
	計		0	計		U	
		В.	<b>本</b> 姑		F.	本 姑	
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」							
においてブロックごとに最大の							
クことに 最大の 金額が支出され							
ている者について記載する 豊							
目と使途の双方							
全に取入の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)							
	計		0	計		0	
	C.			G.			
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
			(17311)			(1173117	
	計		0	計		0	
	D.			H.		<u> </u>	
	費目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)	
			(日万円)			(日万円)	
						ļ	
	計		0	計		0	
	1		1	I		1	

## 支出先上位10者リスト A.事務費

_	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	出張旅費	0.2	-	_
2	出張者B	出張旅費	0.2	_	_
3	出張者C	出張旅費	0.2	_	_
4	出張者D	出張旅費	0.2	_	_
5	出張者E	出張旅費	0.1	_	_
6	出張者F	出張旅費	0.1	_	_
7	出張者G	出張旅費	0.1	_	_
8	出張者H	出張旅費	0.1	_	_
9					
10					